

1994年3月8日 No. 13

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋3-21-7松本ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

全国一般全国協

不況合理化と対決し、九四春闘に勝利しよう！

深刻な不況の嵐が吹き荒れている。日本経済社会のあり方が問われ、構造的・抜本的改革を行わなければならない。この構造不況からの脱出はない。

にもかかわらず、日経連(資本)は、賃金・時短の凍結、合理化・首切りリストラの強行という従来と同じ、労働者への犠牲転嫁の道を踏襲しようとしている。

企業危機・経営危機回復のためには、労働者の権利や生活などは踏みにじられてあたりまえなのだろうか。断じて否である。

今こそ労働の尊厳を取り戻し、「会社」や「企業」が主語でなく、「人間」「労働」「生活」を主語にできる経済・社会をつくっていく好機にしなければならない。

九四春闘

五つの課題

九四春闘をその一歩として位置づけ、具体的には次の五つを闘いの柱としてとりくもう。

一、不況合理化と対決し、権利確立、生活防衛を！

①首切りを許さない、リストラなんて吹き飛ばせ！労働現場に人権を確立し、労働の尊厳を守り抜き闘おう。

②ベアゼロ攻撃粉碎！大幅賃上げをかちとろう！三五、〇〇〇円以上の要求を突きつけよう。

③時間短縮を闘いとう！時短で仕事の分かち合いを追求しよう。

二、未組織労働者に権利の出前を！労働相談に全力でとりくもう。

「工場の門前で民主主義はたちどまる」といわれる。まして今日のように不況の嵐が吹き荒れているなかでは、未組織の職場で何が起っているのか。これを放置したままでは労働運動を変えることはできない。未組織労働者の組織化のため全力をあげよう。

三、外国人労働者・女性労働者・高齢労働者と共同で闘う春闘を！

本工でさえ出向・配転・一時帰休から退職勧奨までされているのだから、臨時・パートが切ら

れてもあたりまえ。「外国人は国へ帰れ。女性・高齢者は家へ帰れ」と資本は本音むき出しの攻撃をかけてきている。われわれは、逆に、外国人・女性・高齢労働者と共同で闘う春闘を意識的につくり出していこう。

四、国家的不当労働行為を許すな！一、〇四七名の首切り撤回！国鉄闘争勝利！

すべての争議団の勝利を闘いとう！一切の労働者犠牲を許さず、すべての争議に勝利しよう。

五、連立政権による超反動政治を許すな！

小選挙区制導入反対！消費税率引き上げ反対。年金改悪反対。自衛隊法改悪反対。コメ自由化・農業切りすて許すな。など重要課題が山積している。九四春闘の柱に連立政権の超反動政治との対決をすえて闘おう。



一、不況合理化と対決し、権利確立、生活防衛を！

①首切りを許さない、リストラなんて吹き飛ばせ！労働現場に人権を確立し、労働の尊厳を守り抜き闘おう。

本工でさえ出向・配転・一時帰休から退職勧奨までされているのだから、臨時・パートが切ら

全国一般全国協の旗を高く掲げ

東(栃木)・西(広島)で九四春闘集会

全国協東日本春闘集会

各地から三六名結集

一月二十九日から三〇日の二日間、雪深き塩原の地で、全国一般全国協九四春闘東日本討論会が開催されました。一都七県から参加した労組は、長野一般、郡山連帯、全国一般宮城合労・南部支部・南部地区協・神奈川地連、金属一般昭電労組・不二工機労組、自立労連埼玉支部・東京支部です。また、参加者は、連帯と挨拶で来て頂いた国労旭川闘争団神田氏、平賀全労協幹事を含めて総勢三六名を数えました。そして、二九日夜は、新加盟組合紹介、参加者自己紹介と交流会が行われ、神奈川地連からは、福井記念病院支部の二名の仲間も紹介されました。三〇日は、倉田副委

員長による開会宣言、浅井副委員長の司会で始まり、遠藤書記長の九四春闘方針提案、宮下書記次長の四、〇〇〇人アンケートの集約分析の後、全労協幹事平賀氏から、リストラ合理化に負けない権利春闘、相場の形成力はないが、中小は支え連帯しあって創造的に闘争しよう、その為にも干渉の情報ネットワークを作る重要性の提起と協力要

請がありました。続いて各地域からは、全労協を作る闘い、健康と安全を守る闘い、地域春闘、三・二四統一ストに向けた取り組み、倒産解雇攻撃との闘い、外国人労働者の組織化等の報告がされました。国労闘争団神田氏は、国労の闘いが、単

全労協西日本春闘集会に

全国協からも多数参加

結成まもない広島全労協の地元―福山で一月二十九から三〇日、西日本集

会を開催、福山市現業労組などの歓迎のもと大きな成功を収めた。山崎議

長・矢山有作氏の挨拶、小森・栗原議員のメッセージのあと、中岡副議長が春闘方針を提起した。国労など各争議団や各地方の報告があり、翌日も全国一般アンケート・労働相談活動などを叩き台に討議が続いた。

連合路線に反対し、地区労存続のため奮闘している愛媛統一正光会労組に対する、経営側からの悪質な攻撃が続いている。昨年十一月以降、経営側は、赤字の責任を組合に押しつけ、一方的に、事前協議協定、ユニオンシヨップ協定の破棄を通告してきている。

の強化、業務命令の乱発を画策している。争議指導している執行部の引責がなければ交渉には応じられないとの態

に対して、正光会労組は数回にわたる組合大会を開き、団結を固め、数次にわたるストライキを貫徹、長期の闘争体制に

き二月には、激励、檄布の送付を要請、全労協を通して各団体への支援、協力要請を行ってきた。闘いが更に長期化・本

格化せざるを得ない状況が続いており、ひき続き全国協は、支援を強め、闘いの輪を拡げるために奮闘したい。各地で、働く者の権利のための闘いを推進している皆さんの心からの支援をお願いします。

組合つぶしと闘う

愛媛統一正光会労組の闘いに支援を

全国一般全国協議会 中央執行委員会

すでに、組合分裂への動きもはじまっており、就業規則による職場支配

度に入っている。全国協議会は、一月三十一日臨大に、中央執行委員長の書記長を派遣し、組合員を激励、全力支援を約束した。これに基づ

の輪を拡げるために奮闘したい。各地で、働く者の権利のための闘いを推進している皆さんの心からの支援をお願いします。

す。

△△勝利完全で委労地川奈神!
 神奈川地連清掃部会の沢口君の不当解雇に対し、横浜地裁仮処分勝利決定に続き、2月3日、原職復帰・賃金支払の地労委命令出る。

ニールセン希望退職提案との闘い

●●● 全国一般東京南部支部

全国的にリストラ不況という名の合理化の嵐が吹荒れる中、市場調査会社のニールセンで希望退職が提案され、その後は派遣社員を投入するという典型的なリストラ攻撃がかかった。全国一般南部支部ニールセン東京分会、同全国労組は厳しい闘いに備えて団結をさらに固く守っている。

経営の言い分によれ

闘う全国の仲間たち

二月一六日全労協第1波統一行動が闘われました。国労闘争団や民間の争議団一体となった中労委申し入れ、JR本社、各企業、背景資本への抗議行動を行い、夜は日比谷野音で、国鉄闘争一九四春闘勝利の決起集会を開催しました。全国協ものぼり旗を掲げて闘いました。



ば、九二年八億、九三年一七億の赤字が見込まれるという経営悪化による八〇名の人員削減である。希望退職の対象は四〇才から五九才までの連続十年以上の社員。会社はこの資金として十億円を親会社のD&Bから担保保証し退職金に当てるという。

その対象となるため、職場討論をしストライキで闘うなど闘争を開始し

細川君、村山君、労働者は怒っているぞ

た。組合はこの提案を拒否することを決定。また、この提案をめぐることは、経営が組合との事前協議約款を破るという攻撃も行なわれていた。

このような理不尽な合理化に抗して、断固闘うニールセン東京分会、全国労組に、全国一般全国協としても全力の支援をしたい。

だ。消費税が導入された数年前、店の販売員は客から追求されて大変だったのだぞ。消費者は口々に「金持ちから取ればいいだろう、庶民からぶん取るとは何事だ」と言っていた。今度は君がレヂの前で説得してみたらいいだろう。国民を簡単にだませると思うな。

細川君、村山君、その他の政治家諸君！労働者が怒りに燃えて闘いに立ち上がることを忘れるな！

火花から炎へ、リストラへの反撃を

組織力量の維持と発展を！

●●● 金属一般

「金属一般」が全労協傘下の全国一般全国協に加盟して三年目にはいりました。

かと言えリストラの攻撃対象になっていることを考えると、当面はもちろんのこと中・長期の視点と新たな視座をもって踏んばることが大袈裟かもしれないが命題となっていることを相互に自覚したいものです。

実さを組織力量の展望とによって相乗効果を引きおこしていくことが大事です。

九二、九三春闘を共に闘い、そして、今九四春闘への「かく闘えり」の総意形成にむけて各組織、各地域で奮闘しています。しかし、「金属一般」の組織は、あまりにも小さいことと、どちら

九四春闘は、正直言ってかかってない重圧を感じますが、職場・家族の切

翼賛体制は、しばらく続くと思われませんが、それに対峙する護憲・平和・権利等のスローガンを高く掲げ、全労協運動の躍進と全国協拡大のために、しぶとく・力強く闘います。

大阪YMCA労働組合結成する

昨年12月に大阪YMCA労働組合が結成されて、2ヶ月が経過しました。私達を取巻く労働環境は、目先の利潤や効率の追求がもたらす労働強化、合理性のない査定、残業過多と超勤手当の未払い等の劣悪化する一方です。この現状に対して、「自由でのびのびした現場で、協力し合って」仕事を進め、「民主的運営システムの確立」を望むという、働く人すべてにとって自明で当然な要求

を基盤として組合が結成されたわけです。この現状を打破し、変革を求めるといふ点について多くの方々から賛同をいただき、連帯の輪が拡がりつつあります。また、この間、労使の話し合いも順

地域の仲間と連帯を求めて

郡山地域連帯労働組合

調に進み、異動に関して「異議申し立て」と、「調停機関」の設立にむけて、合意することが出て来ました。また、組合事務所と掲示板についても合意が得られましたので、組合活動も暫く軌道

全国一般全国協に結集する仲間の皆さん。はじめまして郡山地域連帯労働組合です。私達の仲間が駆け回る街は福島県のちょうど真ん中、地図を開くと東北本線と磐越

「政治的」活動を展開している模様。しかし「連帯労働」はみんなで行った大事な財産。かいた堅く結ぶ私達の根拠地です。

「光陰矢のごとし」と反省しきり。無欲な仏はやめて今年には財産をいっぱい残すぞ！友達の友達は皆友達だ路線で行くぞ！中小企業にいるからといってこんな差別は許さないぞ。俺達だって人間だ。きっちり闘うぞ！連帯を求めて！連帯拡

大！(でも地労委はあるにのって来たということろです。春闘を手始めとして、取り組む課題が山積みするなかで、運動の新たな視点を模索しつつ、前進することを願っています。(組合活動の詳しい報告は大阪YMCA労働組合ニュース「長風」の第一号(第四号参照)

日本が戦後復興から抜け出し、高度経済成長に踏み出した一九五九年、通産省の外郭団体として私たちの職場(財)海外技術者研修協会は創立されました。主な業務は、合弁、技術提携などアジア・アフリカ・ラテンアメリカに進出してきている日本企業が、社員教育の一環として招聘する技術研修生に対して日本語、日本事情など導入教育を行うと共に、補助金を奨学金として交付するといふものです。海技協協は一九七二年に設立され、現在は連合に加盟している旧政労協(政府系の特殊法人、財団法人労働組が加盟)の下、労働条件向上、組織人事、事業の民主化等、当たり前の労働運動を実践してきました。労戦再編の過程で政労協から脱退し全労協に加盟しました。全職員一六〇名のうち、現行の組合員数は二〇人と少数ですが、全労協に集まる仲間と同様、労使協調に陥らない団交、折衝を重ねています。こうした中で、今抱えている闘争課題は業務改善という名の生産性向上運動、通産省からの天下り、事業内容の変更(欧米研修生の受入れ)、出向者の過労死問題があります。組合つぶし、働く者の団結くずしにその最大の目標を置いていく生産性向上運動にいかに対峙するかが、中でも最重点の課題となっています。

友誼組合紹介

海外技術者研修協会労働組合

一方、全労協全体の運動の流れからすれば、連合のくびきから抜け出せないで

新加盟組合紹介

よらに組織がたをめぐして!

個人加盟方式の連帯労働組合を結成したのが87年1月。総評最後の時代における幾つかの権利・雇用闘争の苦い経験と総括に基づいてでした。組合員は個性派ぞろい。それぞれに「市民的」「文化

私達の小さな組合は、全国協の仲間の皆さんの豊かな経験を学び尽くしたいと考えています。そして新しい大地を共に歩み続けたいと決意しています。よろしくお付き合いを。

△追伸▽千客万来！近くには美しい湖と山がたくさんあります。

微力ではありますが、全力を振り絞って頑張っています。